

大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 5 号

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 2年 7月31日 (金)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

『I Have A Dream』

校長 小熊 誠

保護者・地域の皆様、おかげ様で何とか無事に 1 学期の終業式を迎えることができました。本当にありがとうございます。どうぞ皆様も御自愛ください。

学校は、部活動に 1 年生が入部し、3 学年揃っての活動が始まり、20 日には放送による魂の籠った引継ぎ式、23 日からの 4 連休には天候に恵まれず残念ながら実施できない部活動もありましたが、皆の思いがいっぱい詰まったお別れ試合と、新しい生活様式の中で、大原中プライド をしっかり引き継ぎながら世代交代が始まっています。そんな中ではありますが明日からは、16 日間の夏休みが始まります。短いですが、大切な時間だと考えています。先日 3 年生の保護者説明会で、「会話」を大切にしたいという話をしました。保護者・地域の皆様是非、この夏休みに子どもたちと「会話」を、「夢」についての「会話」をしていただければ幸いです。そこで今号では、「夢」を掴みかけている男の話をお話させていただきます。

「I Have A Dream」キング牧師の有名なスピーチの一説です。私は、このスピーチを真似して、毎年夏休み前に「夢」を語り合う授業を実施していました。その授業で「先生になるんだ」と語った生徒がいました。彼は、数学の先生・陸上競技部の顧問を目指しました。教員免許が取得できる大学を卒業し、もちろん陸上競技も続けていました。教員採用試験を受験し続けましたが、合格しません。臨時的任用教員に申込み「夢」の一步を踏み出しました。臨時的任用教員の職がなく、時間給の講師だけの年もありました。でも彼は諦めません。数学では合格しづらいので通信で理科の免許も取得しました。それでも合格しません。30 歳を超えた時、埼玉県以外の受験にも踏み切りました。そして 2 度目の受験で大阪に合格しました。とうとう彼は「夢」に手が届く一步手前まで上り詰めました。彼の「夢」を諦めない情熱と努力の勝利です。ところが、採用前に大きな病気が発病しました。彼はそれでも諦めません。採用を延期してもらい治療に入りました。今度は病気との闘いです。私が彼を病院に見舞いに行った時、彼は病室でベッドから立ち上がることもできず、髪の毛もまったくない状態でした。その時彼が、私の手を握り締め、目をキッと見開いて話した言葉を忘れません。『先生、俺の夢は死なない、だから俺は死なないよ。』彼は 1 年後、その言葉通り病気に勝利し、大阪で数学・女子ソフトテニス部の顧問として先生の第一歩を歩み出しました。でもまだ、埼玉県でも陸上競技部の顧問でもありません。彼はまだ諦めません。3 年後、埼玉県を再度受験し合格しました。彼は歓喜しました。彼の中学校から描き続けてきた「夢」が現実となった瞬間です。でも彼は、そこで満足しませんでした。今、彼は 45 歳、埼玉県の西部地区の中学校で教務主任、そして念願の陸上競技部の顧問となっています。「夢とは、諦めない限りいつまでも続き、そして掴みとれるものなのだ」彼から学びました。しかし、彼は言います。『まだまだ納得のいく授業も部活の指導もできていない。まして子どもたちに夢を語っていない。まだ自分の思い描いている先生になっていない。中学のときの「I Have A Dream」は終わっていないんだ。「夢の途中」なんだ。』しかし、彼の「夢」は、確実に実現に向けて着々と進んでいます。「夢」は諦めず挑み続ければ必ず叶うのです。「夢」は、子どもたちを強くします。そして笑顔をもっと輝かせます。

保護者・地域の皆様、まだまだ先の見えない状態は続いています。子どもたちの「夢」の実現に向けて、御理解と御協力、そして温かい御支援をよろしくお願いたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校